

浜田高校同窓会紙

はまゆゆう

事務局 〒697-0024
島根県浜田市黒川町3749番地
TEL 0855-22-0042
FAX 0855-22-2457
発行：浜田高校同窓会
編集：浜田高校同窓会紙編集委員会
印刷：柏村印刷株式会社

浜田400年の歴史と浜田高校

浜田市長 久保田 章市 (第21期)



来年、2019年(平成31年)、浜田市は開府400年を迎えます。そこで、過去400年の浜田の歴史を、浜田高校との関係に触れながら振り返りたいと思います。

「浜田」は浜田藩誕生で始まった

最初に、浜田高校の名前にもなった「浜田藩の誕生」についてお話しします。

浜田藩は1619年に誕生しました。なぜ、浜田藩が誕生したのでしょうか。1500年代後半、中国地方最大の勢力は毛利氏でした。現在の中国5県の大半は毛利氏の領地で、当時、わが国を代表する銀鉱山であった大森銀山(石見銀山)も領地の一つでした。

1600年、関ヶ原の戦いがありました。この戦いでは徳川家康公率いる東軍が勝ち、負けた西軍の大將であった毛利氏は、周防・長門(山口県)に減封されました。そして、江戸幕府は、銀山のある大森を天領にするとともに、毛利氏が再び勢力を拡大しないよう、1619年(元和5年)、「毛利氏の抑え」として、周防・長門と大森との間に浜田藩を設置しました。

浜田高校の象徴「亀山」は、亀山城に由来

浜田高校の同窓会のことを、通称「亀山会」といいます。浜田高校の校章は「亀」と「高」を組み合わせたもの。「亀山」は浜田高校の象徴です。この「亀山」は、浜田藩誕生の際に建てられた「亀山城」に由来します。

浜田藩初代藩主は、大坂の陣で戦功のあつ

た伊勢松坂藩主古田重治公です。古田重治公は、松坂(現在の松阪市)から、家臣、町民、職人など約4千人を引き連れて浜田にやってきて、浜田川河口の亀山の地(現在の殿町)に「亀山城」を築き、浜田川の南側に「浜田八町三千軒」といわれる城下町をつくりました。また、亀山に隣接する「外ノ浦」は、風待ちの良港で北前船が寄港、全国各地との交易が盛んに行われていました。

その後、浜田には裁判所、税務署、神戸税関支署などの国の機関も設置されました。



浜田城址

明治初めに浜田県庁が置かれ、「浜田中学」も設置された

明治政府は、明治2年、天領大森と浜田藩を管轄する大森県を設置し、大森(現在の大田市)に県庁を置きました。しかし、明治3年に大森県を廃止、新たに浜田県を設置し、浜田に県庁を置きました。明治4年には津和野藩が浜田県に併合され、浜田県は石見地域全体を統括することになりました(この年、



浜田県庁跡の碑

明治政府は、教育制度の整備にも取り組みました。明治5年に「学制」を公布し、数年かけて全国に約2万6千の小学校が設置されました(当時の浜田にも33校を設置)。

明治後半から昭和にかけて、軍都として栄える

明治の後半から昭和にかけて、浜田は「軍都」として栄えました。

きっかけは、歩兵第21連隊の移駐です。歩兵第21連隊は、明治17年、広島で創設されましたが、国防上の必要性から、明治31年に浜田に移駐されました。連隊には、島根県全域、

広島県北部などから2000人以上の兵士が入隊しました。傷病兵の治療などのため、衛成(えいじゆ)病院も設置されました(衛成病院は、戦後、国立浜田病院となり、現在は、浜田医療センターです)。

連隊の存在は、地域経済に大きな影響を与えました。兵士向け食糧、日用品などの納入で市内の事業者は潤い、兵士は訓練が休みの日曜日にはまちに出かけることから飲食店や映画館などが賑わいました。また、各地から家族が面会に訪れることから旅館も多くありました。水産加工業にも影響を与えました。

浜田に最初に缶詰工場ができたのは明治25年頃です。その後、缶詰製造が軌道に乗り、新たな工場が増えていったのも連隊への納入があったからだといわれています。昭和の初め頃、浜田には軍関係者は家族も含めて約5千人が暮らしていたそうです(ちなみに、昭和5年頃の浜田の人口は約3万3千人)。

皆さんよくご存知のように、この歩兵第21連隊の跡地につくられたのが浜田高校です。戦後の昭和22年、「6・3・3・4制」といわれる新しい学制が公布され、新たに高等学校が設置されることになりました。浜田では、昭和24年、旧制浜田中学、県立浜田高等女学校、市立高等女学校の3校が統合され、新しく島根県立浜田高等学校が誕生、昭和25年に、歩兵第21連隊の跡地(黒川町)に移転したのです。



歩兵21連隊の碑

衛兵詰め所

オリンピックでも浜高卒業生が活躍

2年後の2020年に東京でオリンピック・パラリンピックが開催されますので、最後に、

オリンピックで活躍した浜高卒業生についての話をしたいと思います。

これまで、浜田高校は、オリンピック・メダリストを3人輩出しています。一人目は、体操の竹本正男さんです。第15回ヘルシンキ大会(1952年)の跳馬と第16回メルボルン大会(1956年)の団体で銀メダル、そして、第17回ローマ大会(1960年)では団体で金メダルを獲得しました。その後のオリンピック大会でも、日本選手団の監督として活躍されました。

二人目は、水泳の福井誠さんです。第17回ローマ大会の男子800メートルリレーで銀メダルを獲得し、第18回東京大会(1964年)では日本選手団の旗手に抜擢され、日の丸を持って入場行進の先頭を歩かれました。この大会でも800メートルリレーに出場、銅メダルを獲得されました。三人目は、ソフトボールで活躍中の和田毅さんです。第28回アテネ大会(2004年)の野球に投手で出場、銅メダルを獲得されました。



福井選手(旗手)の入場行進

さあ、来年はいよいよ開府400年です。現在、市では様々な企画を検討しています。

開府400年を機に、皆さんと一緒に、郷土の歴史、文化を振り返り、未来に繋がる新しい浜田を考えたいと思います。

写真部

顧問 梅田 慎

写真部の歴史は詳らかではありません。『浜田高等学校百年史』によれば、1952年度(昭和27年)に部活動「写真部」の記述が見えるので、たぶん、これ以前から文化部の一つとして活動が始まり、充実してきたのだろうと思われます。

さて現在は、校舎一棟横の部室長屋の一室に居を構え、部員10人という、近年稀にみる大所帯で活動しています。今年は1年生が男子1人、女子4人とたくさん入ってくれました。2人の3年生が引退したら、2年生3人の細々とした活動になるかと危惧していたところでした。部室には狭いながら暗室もあり、いわゆる「銀塩」の処理ができる環境が整っています。生徒は前顧問の薫陶を受け、それらを使いこなすことができるようです。しかしながら如何せん、現顧問はデジタル一辺倒の為、この貴重な技術の継承が危ぶまれるところです。もう一つ、わが写真部にはパソコンやプリンター等の機材

剣道部

顧問 池田 正美

剣道部は、新制浜田高校(昭和30年頃)には創部されており、活動をしてきました。現在は、3年生2名、1年生6名の部員が日々活動しています。道場は、平成25年の新体育館の完成に伴い新設された立派な道場です。広い道場を対角線に使用して打ち込み稽古を4~5本続けると、本当にいい練習になります。

剣道の競技人口は、県全体でも減少しており、それは、西部地区ほど顕著に現れています。どの学校も練習相手に苦慮しているのが実態です。浜高剣道部も小人数ながら、日々の学校生活や工夫を重ねた稽古を通して、心身の鍛錬に努めています。

近年における大会の成績は、個人戦では中国大会出場をしています。しかし、団体戦では中国大会にあと一步のところまでは善戦していません。顧問として感じることは、浜高の生徒は、本当に素直だということ。素直なので、先生方から指導を受けた内容に対して、一本一本の打突を毎日毎日コツコツと真面目に、繰り返し

が一切ないため、「○○○P」などの現像ソフトが使えません(もともと過度な後処理はダメなのでしょう)。ということはフリンダーの中で構図を固め、カメラの設定や現像処理で作品が決まるということです。しかしむしろこの方が基本を身に付けるためにはよいことだと思っています。その成果かどうか、現3年生の作品が昨年度の特選となり、今年度の信州総文祭に出品することになりました。この作品は、2人の3年生部員が撮る方と撮られる方になって創作したのですが、このようなポートレイトの場合、お互いの良い関係性のもとで作品となるのだと思います。また一見何でもない写真も、題名を付けたとたんに作品となりうるのも面白いところです。技術以上に、感性が大切というのは、このようなことかも知れません。

活動の中心は、年3回のコンクール・写真展に出品するための作品作りです。学校生活や日常の一こまを切り取り作品に仕上げていきます。今年の春季大会では5作品が特選となりました。たまに撮影会と称して遠征にも出かけます。先日は、益田市の蟠竜湖に行ってきました。これから、繊細な感性で日常の世界を大胆に写し取っていききたいと思えます。



し気持ちを込めて反復することができています。日々の稽古への取り組みに期待を込めつつ、

ひたむきで、熱心な部員と団体で上位大会出場を目標にこれからも頑張っていこうと思えます。

HIRAKU ミライ説明会参加企業 (7月3日実施)
3年生を対象に、企業説明をしていただきました。

社会福祉法人 いわみ福祉会	テラテクノロジー株式会社
日本海信用金庫	浜田市役所
マルハマ食品株式会社	浜田高等学校
株式会社ケイ・エフ・ジー	石見食品株式会社
株式会社ホンダカーズ石見	株式会社山陰中央新報社
(株)YOIKOホールディングス	島根県農業協同組合いわみ中央地区本部
株式会社原工務所	今井産業株式会社
社会医療法人仁寿会 加藤病院	トップ金蔵工業株式会社
石見ケーブルビジョン株式会社	国分保育園

平成29年度 進路状況

種別	現役生(延べ数)	過年度生(延べ数)	合計(延べ数)
国立大学	36(40)	10(10)	46(50)
公立大学	31(36)	1(1)	32(37)
私立大学	67(137)	5(31)	72(168)
公立短大	1(2)	0	1(2)
私立短大	7(9)	0	7(9)
看護	12(30)	0	12(30)
専門学校	13(14)	1(1)	14(15)
大学校等	0(0)	0(1)	0(1)
就職(公務員)	3	0	3
就職(一般)	0	0	0

がんばっています！

浜高OB・OG訪問記【6】

田中 輝美さん (第46期)



プロフィール紹介

田中輝美 (たなか・てるみ)

ローカルジャーナリス

ト。島根県浜田市生まれ。

山陰中央新報社で

記者をしながら地域で

働く喜びに目覚める。

琉球新報社との合同企

画「環(めぐ)りの海―竹島と尖閣」で

2013年日本新聞協会賞受賞。2014年

退社し、独立。島根に暮らしながら地域の

ニュースを記録、発信している。著書に『関

係人口をつくる―定住でも交流でもないロー

カルイノベーション』(木楽舎)など。

2017年大阪大学人間科学研究科修士課程

修了。

仕事をされる上でのポリシー

もっとも大切になっているのは信頼関係です。これまでもたくさんの人に支えられ、助けられ、育ててもらいました。私が活動できているのも、そうした島根の人たちのおかげです。お世話になった方々に義理を欠くようなことがないよう、心がけています。

これまで取材された中で、印象深いエピソード/衝撃的な出会い

島根県には現在、年間4000人を超える人たちが県外からUターンやIターン⇨移住してきます(※島根県がきちんと統計をとっています)。ある移住者に「なぜ島根に来たのか」と聞くと「魅力があるからだ」と言われました。重ねて「何が魅力なのか」と聞くと、なんと「課題が魅力だ」と言われ、衝撃を受けました。どういう意味かというと、課題があるからチャレンジができる、もつと言えば、過疎の最先端・島根県は何十年も前から人口減少に直面してきましたが、日本全体が人口減少社会となったことで、島根が他県の「先行事例」「先進地域」になっているのです。だから、島根でチャレンジして課題が解決できれば、これから日本、そして世界で起こる人口減少という課題も解決できる、という意味だそうです。同じように「島根には課題があるからチャレンジができて面白」と話す移住者に出会ったこともあります。時代は変わったなと実感しました。

浜田で生活している人へのメッセージ

前述したように、都市に住む若い世代を中心に「地方って面白そう」「地方でチャレンジがしたい」という人が増えています(もちろん全員ではありません)。繰り返しになりますが、時代は変わったなと感じます。こうした人材を受け入れて生かすかどうか、それは地域次第です。ぜひ新しい感覚を持った外の若い人との地域づくりをチャレンジしてみてもいいと思います。

後輩へのアドバイス

人生は一度きり。後悔のないよう「自分の人生」を生きてください。

今の仕事をされることになったきっかけ

山陰中央新報では長年記者として働き、東京支社も経験させてもらうなど、楽しく充実していました。しかし、東京支社時代、島根をはじめとした地方の情報が驚くほど届いていないことに気付き、それは「地方から東京や全国に向けて発信する人がいない」ことが要因であるという問題意識が膨らみました。そこで「ないなら、つくればいい」と、自分が独立してフリーランスのローカルジャーナリストになり、地方から発信することになりました。

浜高の思い出

浜田第一中学校時代に卓球部でしたが、浜田高校に進学すると、女子卓球部がありました(※厳密に言うとと休部していたそうです)。当時の浜高の先生方に相談したところ、あっさり活動を認めていただき、女子卓球部が復活、3年間大好きな卓球を続けることができました。「ないなら、つくればいい」と思った原体験で、先生方には感謝してもしきれません。

浜田市「ふるさとメール」

毎週金曜日発行・購読無料



浜田市では、山陰中央新報社と協力して、ふるさとの情報を定期的にお届けする「浜田市ふるさとメール」を配信しています。

ふるさと浜田を離れて暮らす人に、山陰中央新報の記事、浜田市からのメッセージやイベント案内など、ふるさとの最新情報をお伝えするメールマガジンです。ぜひご愛読ください。

申込み

◇山陰中央新報ホームページ <http://www.sanin-chuo.co.jp/>

◇浜田市ホームページ <http://www.city.hamada.shimane.jp/>



浜田高等学校広島地区同窓会

浜高広島地区同窓会

時：平成29年10月28日(土) 所：広島国際ホテル

29回目の同窓会は、3期から56期までの同窓生41名の参加を得て開催しました。総会後に、全国的に活躍されている島根県邑南町の石橋良治町長（18期）をお迎えし、「小さな町の大きな挑戦」と題して講演を行って頂きました。その後の懇親会では、浜田の名産品などを賞品とした抽選会を行い盛り上がり、最後に校歌を皆で合唱し閉会しました。第30回記念の同窓会で多くの皆さんと再会できることを楽しみにしています。（29期 宮田浩二）



8期 亀のろ会「傘寿」

時：平成30年4月19日(木)～20日(金) 所：岐阜グランドホテル

参加者35名（九州、四国、浜田、近畿、地元中部、関東から参加）例年、「亀のろ会」は関東周辺で開催していたが、今年は「傘寿」の年であることから、大勢の方が参加しやすいように中部地区（岐阜市長良）で開催した。初めての参加者、久しぶりの参加者が大勢集まって、元気で楽しいひと時を過ごした。翌日は「うかいミュージアム」を見学後、「お互い元気で頑張ろう」と声を掛け合いながら散会した。（8期 野澤浩）

地区同窓会 同期会だより



在京浜田高校同窓会

在京同窓会

時：平成29年11月25日(土)
所：アルカディア市ヶ谷「富士」

晩秋の抜けるような青空の中、恒例の在京同窓会総会が202名の参加者を得て盛大に開催されました。イベントは今回で2度目のご出演となる益田英生さん（浜高45期）率いるクラリネットのビッグバンド（ブラック・パイド・パイパーズ）をお招きし、往年のジャズナンバーから歌謡曲の数々、参加者からのリクエストにも応えていただき、ビッグバンドの熱気あふれる演奏に会場は興奮に包まれていました。今年の総会は11月24日(土)に開催します。大勢のご参加をお待ちしております。（32期 梶・金高）



32期幹事

我ら45歳!! 浜高42期卒業生チーム

時：平成30年3月3日(土)
所：第3回山陰浜田港マリン大橋リレーマラソン（浜田漁港）

同級生10名でチームを組み、男女混合の部に出場しました。久しぶりに地元に戻り、懐かしい磯の香りの中を力走り、無事完走できました。打ち上げでは、おいしい浜田産の魚を食べながら旧友たちと盛り上がりました。また挑戦したいです。（42期 河野哲也）



浜高同窓会総会

時：平成29年8月12日(土) 所：浜田ワシントンホテルプラザ

33期が幹事を務め、237名の参加をいただき、盛況に開催することが出来ました。33期代表講演では高島博君の「日本の航空管制業務について」1日約3000機もの航空機管制に携わっている苦労話など力強く語って頂きました。また、大田さんによるハワイアンダンスも披露して会場の雰囲気が一気に華やぎました。非常に沢山のご参加をいただき誠に有難うございました。次回34期幹事の皆様のご検討をお祈りします。（33期代表幹事 戸津川美二）



33期同窓会

時：平成29年8月12日(土) 所：浜田ワシントンホテルプラザ

全体同窓会を終えた同会場に於いて、引き続き33期同窓会を開催しました。総勢113名にご参加頂き、盛大に執り行うことが出来ました。残念だったことは、お世話になった恩師先生に一人もご出席頂けなかったことです。同期の会では、卒業して以来一度も会ってない方もおられ、当時を振り返ることが出来、本当にいい機会となりました。その後、3次会へと進み、参加者も93名とその日は夜中まで盛り上がる事が出来ました。今後も、機会あるごとに再会しようと誓い合いました。（33期 戸津川美二）

地区同窓会連絡先	名称/会長	連絡先	電話/E-mail	総会時期
	浜高同窓会(本部)/土田好明(19期)	浜田市黒川町3749 浜田高校 同窓会事務局	0855-22-0042 hamada-hs@edu.pref.shimane.jp	8月
	在京浜高同窓会/久代敏男(17期)	千代田区紀尾井町3-29 NGA紀尾井町ビル201号室 田原大三郎法律事務所内 田原大三郎(17期)	03-3237-9500 ono@tabara-law.com	11月
	近畿浜高同窓会/戸津川明克(9期)	京都市中京区橋本町487-7 吉澤利治(36期)	075-256-7608	2月
	浜高広島地区同窓会/山崎健三(14期)	広島市安佐南区長楽寺一丁目61番6号 宮田浩二(29期)	090-1352-5990	10月
	九州・山口浜高同窓会/吉田利治(9期)	北九州市戸畑区土取町14-11 大里葉子(11期)	093-882-7983 yosida14817@hb.tp1.jp	10月
	在松亀山会/若佐博之(9期)	松江市魚町10番地 山陰合同銀行 河上敬介(43期)	0852-55-1845	10月

広告・写真・記事募集のお願い

送付先 〒699-3223
島根県浜田市三隅町西河内1084-32
中川 保(24期)
携帯090-8640-3638
Email: cityboy@pub.herecall.jp

平成30年度に開催される地区同窓会、同期会の写真・記事がありましたら、来年5月までにファイルまたは郵送でお送りください。記事の掲載に関しては、編集委員会に一任ください。広告募集中!

お知らせ

パソコンやスマートフォンで検索

浜田高校 検索

「浜田高校」で検索して、「同窓会」をクリックすると「はまゆう」の最新号とバックナンバーを見ることができます!!

